

<p style="text-align: center;">鳥類</p> <p style="text-align: center;">～唐津で見られる野鳥のなかから～</p>	分野	自然
	地域	全域
<p>『日本鳥類保護連盟の鳥630図鑑』（増補改訂版 平成14年7月1日発行）によると日本産鳥類572種は、水鳥約51%、陸鳥約49%という比率である。</p> <p>全世界の鳥類約9,000種の約90%は陸鳥が占める。と、記載されている。</p> <p>唐津で公式に記録された鳥種としては1983～1985までの3年間にわたる、月1回の定点・定線調査結果として101種が記録されている。河川、湖沼、湿地、干潟、河口、内、外海等水辺に依存するの鳥は56種、55.4%、陸鳥が44.6%と周囲を海に囲まれた日本の鳥の比率に似た数値を示している。</p> <p>鳥を季節移動の視点でみると移動するものとしめないものに分けられ、周年ある地域に留まる鳥を留鳥。春、南の方から日本に来て、繁殖。秋、再び南に戻る夏鳥。秋、北の繁殖地から日本に来て冬を越し、春、繁殖のため北に戻る冬鳥。春、日本に立ち寄り更に北に向かって渡り、より北の地で繁殖。秋、再び、日本に立ち寄り、更に南に渡り冬を越す旅鳥。分布域を外れて姿を見せる迷鳥。留鳥でありながら、ある範囲内を季節的に移動する漂鳥などに分けることができる。野鳥が棲息を依存する環境は陸鳥の場合、更に分けると平地、林地、低山地、高山、などに分けることができる。ここでは生息環境を</p> <p>①海沿いの地域 ②川沿いの地域 ③山間の地域 ④溜池 ⑤草地 ⑥住宅地に分け、それらの環境で普通に見られる鳥の名を挙げることにした。</p> <p>※添付書類あり</p>	◎地図・写真・統計資料など	
	◎引用・参考文献（出典）	
	<ul style="list-style-type: none"> ◆『藤本和典野鳥ポケット図鑑』主婦の友社 ◆『佐賀の野鳥』佐賀県 1987 農林部森林保全課 ◆佐賀の野鳥 第3号1994/佐賀野鳥の会 研究冊子 ◆鳥630図鑑 H14.7.1/日本鳥類保護連盟 ◆『浜玉町史』上巻P55～ ◆『飯木町史』中巻P281～ 	
	◎もっと詳しく知りたい方は	
	<p>唐津市近代図書館へ お問い合わせください。</p> <p>■電話：0955-72-3467</p> <p>■ホームページ： http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html</p>	

生息環境	科	名称（季節移動関係）
①海沿いの地 （港・磯浜・砂浜・干潟・海上を含む）	カモメ	ユリカモメ（冬）、セグロカモメ（冬）、ウミネコ（冬）、オオセグロカモメ（冬）等
	サギ	クロサギ（留）、ダイサギ（留）、アオサギ（留）、コサギ（留）
	ヒバリ	ヒバリ（留）
	シギ	イソシギ（冬・留）、ハマシギ（旅）、アオアシシギ（冬）、ダイシャクシギ（旅・冬）
	チドリ	コチドリ（夏・留）、シロチドリ（留）
	カモ	ウミアイサ（冬）
	ハタオリドリ	スズメ（留）
	アビ	アビ（冬）、オオハム（冬）、シロエリオオハム（冬）
	ウ	ウミウ（冬）
	カイツブリ	ハジロカイツブリ（冬）、カンムリカイツブリ（冬）
	ツバメ	ツバメ（夏）
	ヒタキ	イソヒヨドリ（留）
	タカ	トビ（留）、ミサゴ（留）
	カツオドリ	カツオドリ（旅）
②川沿いの地 （堤外地・河口・堤内地の農耕地・住宅地・堤防法面を含む）	サギ	ダイサギ（留）、アオサギ（留）、コサギ（留）、ゴイサギ（留）、アマサギ（夏）
	ウ	ウミウ（冬）、カワウ（冬）
	カイツブリ	カイツブリ（留）、カンムリカイツブリ（冬）
	カモ	コガモ（冬）、マガモ（冬）、ヒドリガモ（冬）、ホシハジロ（冬）、キンクロハジロ（冬）、オナガガモ（冬）等
	セキレイ	タヒバリ（冬）、ハクセキレイ（留・冬）、キセキレイ（留・漂）、セグロセキレイ（留・冬）
	カワセミ	カワセミ（留）、ヤマセミ（留）
	ホオジロ	ホオジロ（留）、カシラダカ（冬）
	ヒバリ	ヒバリ（留）
	シギ	タシギ（冬）、クサシギ（冬）、イソシギ（冬・留）
	ツバメ	ツバメ（夏）
	アトリ	カワラヒワ（留）、アトリ（冬）
	ウグイス	セッカ（留）、ウグイス（留・漂）、オオヨシキリ（夏）
	ツグミ	ツグミ（冬）
	ハタオリドリ	スズメ（留）
	キジ	キジ（留）
	ムクドリ	ムクドリ（留・漂・冬）
	カラス	ミヤマガラス（冬）、ハシブトガラス（留）
ツル	マナツル（旅）、ナベツル（旅）	

生息環境	科	名称（季節移動関係）
③山間の地 （含む山地・草地）	ウグイス	ウグイス（留・漂）
	メジロ	メジロ（留・冬・漂）
	ヒヨドリ	ヒヨドリ（留・冬・漂）
	シジュウカラ	シジュウカラ（留）、ヤマガラ（留）
	キジ	ヤマドリ（留）、コジュケイ（留）
	ツグミ	シロハラ（冬）、オオルリ（夏）、ルリビタキ（冬）
	ハト	キジバト（留）、カシラダカ（冬）、 ミヤマホオシロ（冬）、クロジ（冬）、アオジ（冬）
	カラス	カケス（留）、ハシブトガラス（留）、ハシボソガラス（留）
	エナガ	エナガ（留・漂）
④溜め池	カイツブリ	カイツブリ（留）
	ツバメ	ツバメ（夏）
	クイナ	バン（夏・留）、オオバン（冬）
	ウ	ウミウ（冬）、カワウ（冬）
	カモ	オンドリ（冬）、マガモ（冬）、カルガモ（冬）、 ホシハジロ（冬）、キンクロハジロ（冬）
	サギ	ダイサギ（留）、アオサギ（留）、コサギ（留）、ゴイサギ（留）
⑤草地	ウグイス	セッカ（留）
	ヒバリ	ヒバリ（留）
	ムクドリ	ムクドリ（留・漂・冬）
	キジ	キジ（留）
	ツバメ	ツバメ（夏）
⑥住宅地	ハタオリドリ	スズメ（留）
	ツバメ	ツバメ（夏）
	ムクドリ	ムクドリ（留・漂・冬）
	セキレイ	ハクセキレイ（冬・留）、キセキレイ（留・漂）
	ツグミ	ジョウビタキ（冬）
補足欄①～⑥上空通過	タカ	オオタカ（冬）、ハイタカ（冬）、ミサゴ（留）、 ノスリ（冬）、サシバ（夏）、ハチクマ（旅）
	ハヤブサ	ハヤブサ（冬）、チョウゲンボウ（冬）、アカハラダカ（夏・旅）
	フクロウ	フクロウ（留）、アオバスク（夏）